

# 成和福祉だより 第60号 令和二年二月二十日

成和校区社会福祉協議会事務局 成和公民館 ☎73-7086

## 【成和校区社会福祉協議会合同視察研修会】

期日 令和元年十一月二十五日(月)・二十六日(火)

研修場所 山口県防府市社会福祉協議会

防府市の紹介 山口県の中南部・周防灘に面し、数五万六千二百

六十五世帯、人口十一万六千二百三人で、唐津市とほぼ同じ規模の地方都市である。

### 「研修の概要」

#### 一 防府市社会福祉協議会の講話

防府市社協は、山口県社協の主唱により、昭和六十一年から「福祉の輪づくり運動」に取り組んでいる。「住み慣れた地域で、だれもが安心して明るく楽しく暮らしていけるまちづくり」をコンセプトに、

自助…自分のことを自分でする、自らの健康管理

互助…ボランティア活動、住民組織の活動

共助…介護保険に代表される社会保障

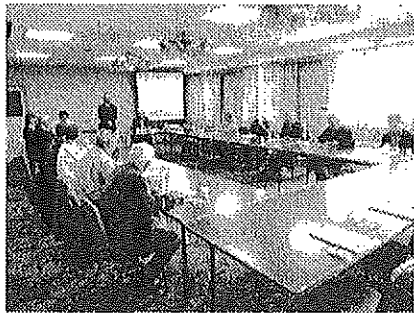
公助…生活保護、人権擁護、高齢者福祉事業

などの主な事業、考え方についてお話を伺った。

#### 二 防府市の十五地区の社協の一つ、西浦地区社協会長の講話

山崎会長さんから、「西浦地区社協の福祉活動について」のテーマでお話を伺った。

(西浦地区の現状と課題)



西浦地区は、千八百二十六世帯、人口三千四百九十四人の地区で、

成和校区よりも小さい地区で、三百五十年前から海の干拓事業による米作りと、塩田での塩づくりが行われてきた。昭和五十年頃から自動車メーカー「マツダ」の工場進出により栄えてきた。

当地域は、人口減少と少子高齢化の波が押し寄せている。

高齢化率 防府市全体30% 西浦地区36% 十五地区のうち三地区は45%

(福祉員の活動内容)

#### ① 年間行事への参加

5月 ふれあいネットワークづくり運動、高齢者への実態調査

7月 小学生が作成した七夕飾りの各世帯への配付

8月 盆踊り大会の準備と運営

9月 敬老会の準備と運営

11月 西浦まつり(収穫祭)の準備と運営、高齢者の健康教室

12月 福祉弁当の各世帯への配付

#### ② その他

買い物弱者、外出弱者のためのお世話

防災訓練時の炊き出し、消火訓練、AED講習

非常時の西浦地区防災対策本部設置後の参加 など

#### 三、研修を終えて

西浦地区においても少子化が進む中、年間十を超える行事をこれまでと変わりなく実施されている。成和校区においても、校区住民のお役に立てるものはないか、役員・児童民生委員・福祉員の積極的な参加をお願いしながら、検討をしていきたいと考えています。

今回の研修で、社会福祉協議会が、地域福祉を進める中心的な団体として、地域住民と一緒に住みよい安心・安全な福祉のまちづくりに努めていくという大事な役割があるということをも、再確認しました。

### 成和地区協議体 日常生活に関する調査集計結果

令和元年十二月に、七十五歳以上の一人暮らし・二人世帯を対象に、日常生活でどのようなことに困っているのか、日ごろの楽しみや趣味、生きがいなどについて、アンケートを行いました。結果は、次のとおりです。

(回収226名 回収率94.2%)

問1-1 自分ですることが難しくなっていると感じること(複数回答) 上位3位

電球交換 35.8% 買い物 30.1%  
通院 27.0%

問1-2 困ったときに頼める人がいる(問1-1の回答数に対する割合) 上位3位

買い物 80.9% ゴミ出し 79.6%  
電球交換 77.8%

問1-3 困ったときに頼める人がいない(問1-1の回答数に対する割合) 上位3位

庭の草取り 39.2% 通院 36.1%  
日ごろの掃除 35.8%

問1-4 困ったときの頼める人について(誰に頼むことができるか)(問1-1の回答数に対する割合) 上位3位

<同居の家族> 洗濯 43.8% 庭の草取り 29.4% ゴミ出し 28.6%  
<別居の家族> 買い物 52.9% 洗濯 43.8%  
電球交換 40.7%

<隣近所> 友人や知人との交流 32.3% ゴミ出し 12.2% 通院 6.6%

<その他の人> 通院 26.2% 買い物 25.0%  
食事の準備 24.1%

通院は、タクシーや病院送迎、買い物は、タクシーやヘルパー、食事の準備は、配食や施設を庭の草取りは、業者を利用している。

問2 日ごろの楽しみや趣味、生きがいなど(複数回答) 全回答者数(226名)に対する割合 上位3位  
趣味 41.2% 友人や知人との交流 40.7%

町内会の活動 22.6%

具体的な内容

趣味：手芸、カラオケ、お茶、読書、釣り

友人や知人との交流：趣味・サークル仲間、友人・知人、食事会

町内会活動：清掃活動、ごみ当番

いずれかの項目にチェックがある人は約7割、チェックがない人は約3割あり、日常的に地域とのつながりがなく、日ごろの楽しみがない人が少なからずいる状況である。

### 唐津市社会福祉協議会(事務局)より

日常生活で困難を感じていることについて、「電池の交換」「買い物」「通院」が高くなっている。食事の準備や掃除、ゴミ出しなどの日常的な作業も困難と感じている人がいる。高齢になると軽度の作業も難しくなり、日常生活の課題が増えていることが伺える。

困りごとを頼める人の状況では、「いる」と回答した人が60%を超えている。しかし、「庭の草取り」「通院」「日ごろの掃除」で35%以上、「交流」「食事の準備」で30%以上が「いない」と回答している。そのことは、安心・安全な生活を送ることが困難になる要因に直結する課題である。また、人との交流は、地域での人間関係づくりでの課題でもあり、課題解決方法の検討が必要である。